

令和5年度 第3回 学校関係者評価委員会 記録

1 日 時 令和6年2月15日（木） 午後2時30分～午後3時30分

2 場 所 会議室

3 出席者 学校関係者評価委員（5名）
校長 教頭 事務長 教務企画係 生徒指導主任 進路指導主任
保健主任 農場長 生活情報科1年担任

4 会 順（進行：教頭）

(1) 校長あいさつ

(2) 協議

ア 学校関係者評価委員会

- ・教務部・生徒指導部・進路指導部・保健部・各学科から資料等による説明。

イ 信頼される学校づくりのための委員会

- ・不祥事防止対策についてこれまでの取組を教頭から説明。
- ・来年度も職員朝礼や職員研修等で不祥事防止の取組を継続していくことを確認。
- ・外部評価委員からの意見は特になし。

ウ いじめ防止対策委員会

- ・学校生活アンケート（いじめ実態調査）について生徒指導主任から説明。
※ ネットいじめ等を含めて県教委へ報告する事案はなかった。
※ 緊急を要する場合は、担任や管理職に連絡し、いじめとして認知された場合は聴き取り等速やかに対応をしていく。
- ・外部評価委員からの意見は特になし。

(3) 質疑応答・意見交換

ア 質問

- ・定期健康診断後の治療率が低いですが、何か対策を考えているのか。
- ・不登校の問題は解決が難しいが、高校でできることは何か。
- ・林業大学校の今後の動きはどうなっていくのか。
- ・高校ではどのような主権者教育が行われているか。

イ 意見等

- ・若者の投票率が低い。18歳で選挙権を持つ生徒がでてくるので、主権者教育を進めてほしい。
- ・林業大学校が開校される。伊佐農林高校は、林業専攻もあるので、今後進路先として林業大学校への進学も考えてほしい。
- ・長期欠席や不登校傾向にある生徒は、かつては「学校不適應」や「怠学」が理由とされていたが、最近では「無気力」や「生活習慣の乱れ」などが上位にあげられる。個に応じた指導・支援が必要である。
- ・生徒たちには、授業や実習など学校生活に一生懸命に取り組んでもらいたい。